

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン
- 第 2560 地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策
- 副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝
- 副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一
- 副SAA——松谷晃吉
- 例会日——毎週水曜日 12:30 ~
- 例会場——三条市旭町 2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町 2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

出席者会員数

会員 76名中 66名

先々週出席率

91.78% (前年同期 88.73%)

今日のお花

スプセレー菊、ガーベラ

ヴィジター

三条南より 若林幸哉さん、野島廣一郎さん、佐藤英一さん
三条北より 堀川正幸さん、山本 充さん、外山晴一さん、
佐藤啓策さん

先週のメイクアップ

- 4/1 加茂へ 近藤雄介さん
- 4/5 三条南へ 斎藤弘文さん、古沢富雄さん、渡辺喜彦さん
- 4/6 三条北へ 林 光輝さん、岩井数央さん、渡辺勝利さん、藤田紘一さん、
関本哲秀さん

会長挨拶

内山(辰)会長

ご挨拶申し上げます。今日は三条北クラブ・三条南クラブから七名のお客さんをお迎え致しております。ようこそおい出くださいました。

本日は当クラブの創立記念日でございます。正確に申しますと4月3日がそうなのでございますが、36回目の記念日でございます。この後チャーターメンバーの鈴木宗資さんから卓話をお願い致しておりますが、どんなお話が飛び出してくるやら期待申し上げます。

当クラブの発会は1957年(昭和32年)4月3日でございます。この年は丁度私の会社では車を購入した年でございます。車は購入したけれども運転手がないということで、運転手を探した記憶がございます。そういう時代でございます。チャーターメンバーは24名ございまして、会長さんが金子左武郎さん、幹事が鈴木宗資さん。長岡クラブがスポンサークラブでございます。

私も会長になりましていろいろ勉強させていただきましたが、三条クラブは地区拡大では抜群な功績をあげており、新潟・群馬区の中で誇るべき業績がございます。業績、歴史的にも本当に素晴らしいクラブだなあとかねがね考えております。ポール・ハリス・フェローの精神といますか、ロータリーの理念といますか、そういったことを完全に順応同化しておるクラブだということがよく解りました。先輩方々は何もおっしゃられませんが、ロータリーの精神が自然と流れている、非常に品位のある、重みのあるクラブだと思っております。

4月25日が見附クラブの10周年記念式典がございます。当クラブがお誘いを致したわけでございますが、当日は当クラブから40名の参加があるということで、大変喜んでおります。

それから今日は新会員の方が二名、お見えになっております。後ほど推薦者の方からご紹介いただきます。

最後に、今日は私どもの創立記念日ということでワインを用意いたしました。お帰りの際にお持ち帰りください。

幹事報告

榎本幹事

◎三条南RCより 現・次年度市内3RC会長・幹事会のご案内がとどいております。

とき 4月22日(木) PM6:30~

ところ 魚作

◎ガバナー事務所より 中国のポリオ根絶支援のお礼状がとどいております。

新会員紹介

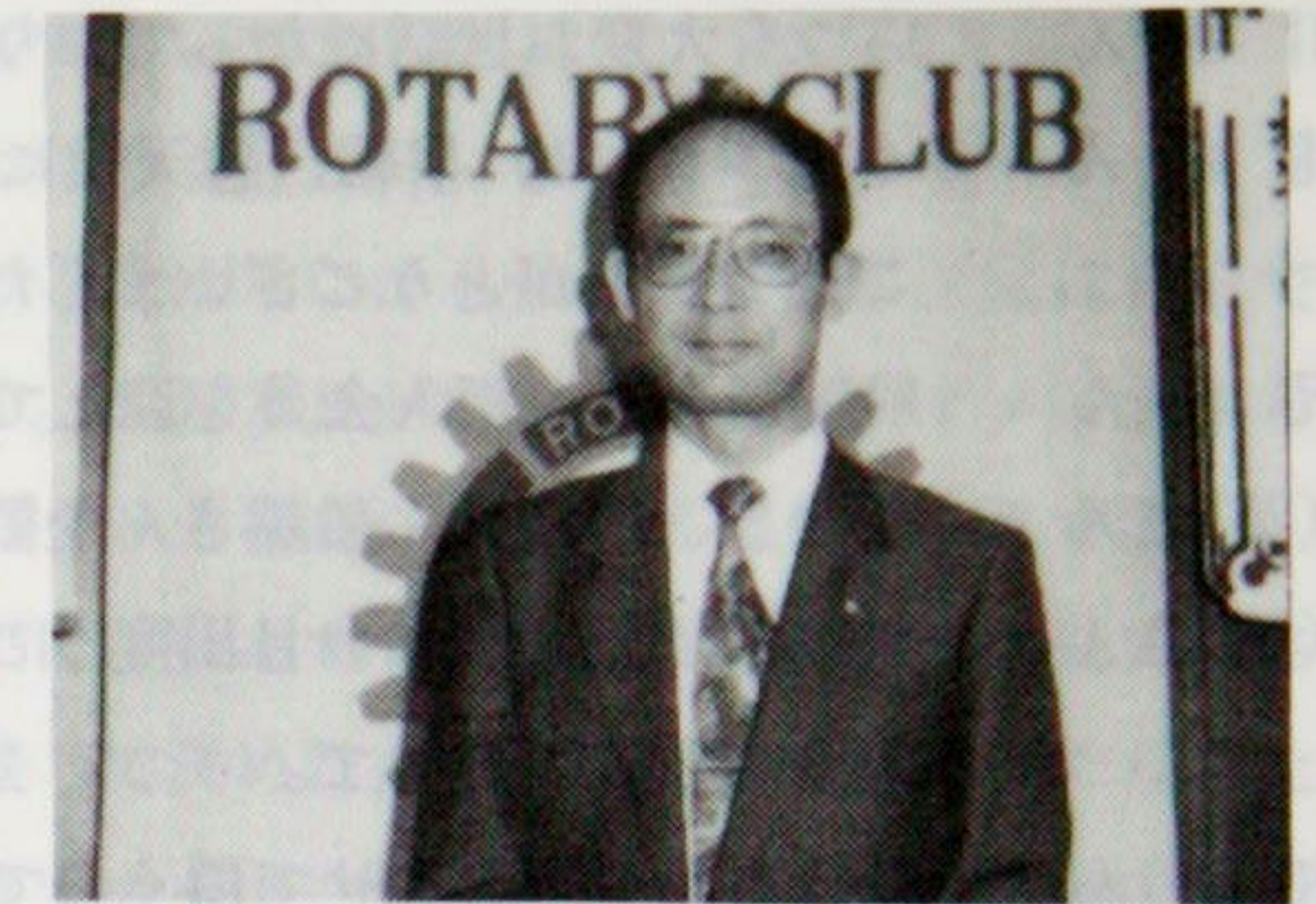
高森章仁会員

高森エンジニア(株) 社長

昭和24年2月6日生

家族構成:妻、二女

趣味:ドライブ、ゴルフ



船越正夫会員

三条サッシ工業(株) 社長

昭和22年5月25日生

家族構成:妻、長男、長女、父母

趣味:ゴルフ



ニコニコBOX ¥17,000

4月7日分

野島広一郎さん(三条南RC)

創立記念日のお土産ありがとうございます。

佐藤啓策さん(三条北RC)

36回目の創立記念日おめでとうございます。今日はお世話になります。

若林幸哉さん(三条南RC)

何時もお世話になっております。本日は創立記念日お目出度うございます。本年も宜しく願い申し上げます。

渡辺(宏)さん

高森さんの入会を歓迎して。急な出張で予定していたクリーン作戦に出席できませんでした。かわりに家の近所の五十嵐川クリーン作戦を社員と一緒に昨日行いました。

加藤さん

新入会員の高森さん、船越さんをお迎えして。

阿部さん

創立記念日。鈴木さん、卓話をいただきありがとうございます。

五十嵐(昭)さん

創立記念日を祝いまして。

佐藤さん

鈴木さんの卓話を喜んで聞かせて頂きます。

堀川さん いつも大変お世話になっております。会頭さんのお話楽しみです。
 山浦さん 4月4日(日) 早朝、悪天候にもかかわらず五十嵐川クリーン作戦にご協力ありがとうございました。
 滝沢さん 船越正夫君、新入会員を迎えて。
 小林(英)さん 新会員、高森さん船越さんを歓迎申し上げます。
 内山(辰)さん 創立36回記念誠に御目出度うございます。新会員の高森さん船越さん入会を歓迎しまして。
 鈴木さん 名誉ある卓話をさせて頂くので。
 渡辺(勝)さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。

ロータリー財団BOX ¥ 3,000 4月7日分

広岡さん 内孫がピッカピッカの小学校1年生になりました。
 木許さん 次女が昨日、中学校へ入学致しました。

卓話

鈴木宗資会員

今日は第一例会日で「君が代」を歌わせていただきました。日の丸も出ております。午前中テクノスクール(旧職業訓練校)に入校式に行きましたら、今年から「君が代」を歌うことになりましたということで、日の丸も出ておりました。世の中がまた昔に返ったような気がいたします。「日の丸」。好きでも嫌いでもかまわないのですが、嫌いという人は大概オリンピックに出ても勝つ見込みもないような人でして、社会党の人はオリンピックに出る気がないというか、出ても勝つ気がないのではないかとさえ見えますが…。他方、君が代と日の丸がないと困るのが岩崎恭子さんで、絶対勝つという人は、日の丸と君が代を絶対抜かしてはならないわけです。



今日は創立記念日ということで、プログラムの近藤さんから、創立からのいろいろを、お前は古狸だから昔を思い出して喋れといわれまして、私も昨日当たりから何を喋ろうか考えておりましたが、36年前といたしますとなかなか記憶が出てまいりません。ようやく引っぱり出しましてお話申し上げます。

会長さんのご挨拶の中にも「三条クラブは、歴史が長いからいろいろなことをやったんだ」というお話でありましたが、本当にその通りでございまして、一番やらないのは最近

でありまして、昔はいろいろなことをやってまいりました。

当三条クラブができましたのが、昭和32年の4月3日。この中にはチャーターメンバーが4、5人おられますが、あまり覚えている人はいないかも知れませんが、私は自分で人を集めてたものですからよく覚えております。5月3日が承認された日、アメリカから電報が来た日でございます。6月23日がチャーターナイトのあった日でございます。

この日程、実は三条の者が決めたわけではないんです。これは全部新潟と長岡のスポンサークラブの人たちが東京の人たちと相談して決めたんです。何故6月23日になったかという、翌24日が新発田クラブのチャーターナイト。東京からの御客様の都合で6月23日に決められたのでした。お仕着せでした。例会日が何故水曜日に決まったかといいますと、これも新潟と長岡の都合でして、一番メイクアップするに都合の良い日ということで決められました。これも新潟と長岡の人たちの都合で決めてくださいました。

当時県内には6つのクラブがございました。新潟クラブ、長岡クラブ、高田クラブ、柏崎クラブ、十日町クラブ、新津クラブ。三条よりも先に6つ。三条と同時にできたのが新発田クラブでございました。

何故三条にできるのが十日町や新津あるいは柏崎より遅かったかといいますと、どちらかという、三条の人たちはこういうものをつくるのが嫌だったということがあります。

他所の町にクラブをつくろうとします時に、まずキーメンバーを探します。この町で誰が一番ポイントになるかということをお考えまして、その人を口説き落とせば半分できたということになるのですが、三条の場合、当時三条信用金庫の金子左武郎さんというのがキーメンバーであるということは誰の目にも明らかであったわけです。新潟から誘い掛けがある。長岡から誘い掛けがある。いずれも見るところは同じでありまして、金子左武郎さんのところへ「早くつくれ、早くつくれ」と口説きに来るわけです。

私も昭和27年に三条に帰ってまいりまして材木屋を始めたんですが、そのころ金子さんともお付き合いが始まりまして、ポケットクラブという信用金庫内の交友クラブにも入れていただきました。そんなことで、金子さんに「新潟、長岡からいわれているから何とか算段しろ」といわれたのですが、私は材木屋で、三条は金物の町。金物屋さんの顔が分からないわけでした、その点全部の顔が分かるのが金子左武郎さん。

金融界というのはありとあらゆる業界の方と取引をしているわけでした、その当時未だ金物業界もおそらく組合という形が出来ていなかったのではないかと推します。工場の方はみんな一匹狼で、全部「俺は大将」という方ばかりでございました。他の商売にもほとんど組合というものが無いわけでした、だから人が寄ってものをやるという習慣が三条に全然なかったわけです。しかし例外的にその当時から銀行の集いというものだけがありました。いかに「金」というものが大切であったか、現在も同じでございますけれども、

その当時は日本中に資金がないわけです。銀行に頼らなければ何もできない。日本経済が勃興する時でございましたから銀行は大変な力を持っておりまして。四行会は28年から北越銀行の会は翌年くらいから、ほとんど二十年代から銀行の会はできている。人の集まるのは銀行だけだ。いかに銀行というところに行かないと何もできないかが解ります。

だから銀行の長というものは町を牛耳っていたわけでした、特に信用金庫は地元の銀行でございますから、「金子左武郎といえば泣く子も黙る」という…、あちらで聞いておられますが、それくらいの勢力がございまして、あの人を口説き落とせばロータリーはできるということで、他所の町からやんやんやの催促で、やっと産声を発しました。三条ほど難産するところはないといわれるくらいでした。

できてしまえばトントン拍子でございまして、認証、チャーターナイトと連続してありまして、ロータリーのお仲間にさせていただくことになったのですが、クラブの功績といましては、私ども昭和32年にできまして四年目の36年に、まず燕にロータリークラブをつくりました。これも金が一番大事だということで、金子さんに目を付けられましたのが、協栄信用組合の現高橋理事長の先代。その人に話を掛けられまして、燕の人を寄せ集めてつくったのが燕ロータリークラブ。同じ年に加茂にも、加茂信用金庫の人に話を掛けましてできました。10年目に南クラブ。これは状況が違いました、三条の第二クラブでございまして、市長をお務めいただいた金子六郎さんをお願いしてできました。

次につくりましたのが分水クラブ。これは特種のでき方をいたしまして、分水出身の確か藤川さんといわれたと思うんですが、その方が大阪方面で大変出世いたしまして、お金持ちになって帰って来られました。功成り名遂げたから自分は分水に帰ると、しかし分水にはロータリーがないから三条に入れてくれということで、分水にお住いになって三条のロータリーに通っておいでになった。その方が「私のこれからの一生は分水にロータリーをつくるのが使命である」と使命感に燃えられまして、三条クラブに籍を置きながら分水クラブをつくることに専念された。そういう奇特な方があったわけです。その方のお陰で分水にロータリーができたわけです。私が特別代表を務めさせていただきました。

その次が見附クラブ。ここは前から、燕と加茂をつくった当時から何遍も金子さんとアプローチした所だったので、ところがこの見附というところは北村前知事がおられた所でございます、この北村知事という方はライオンズクラブの出身でありまして、もうライオンズでなければ夜昼明けない。ロータリー大嫌いという人が知事だったわけです。ロータリーに入ったら見附の町を歩けない。その人が見附にいる間は全然駄目なんです。それで私も諦めておったのですが、ところが時代も変わりました、北村知事も亡くなりまして、三条には青年会議所という立派なものがございます、中条さんなどやる気のある人が見附に青年会議所を先につくった。若い人どうしが仲良くなってその人たちをキーメンバーとしてロータリーができた。今度は金融界とは全く関係がない。若い人どうしが仲良

くなってつくったのです。ここでも私は特別代表を務めさせていただきました。一番最後に藤田さんになってから北クラブができたのです。

クラブをつくった時には、空中分解するのではないかという心配は、おそらくどなたがおつくりになってもお持ちになると思うのですが、当初、集会をやる習慣のない所で一週間に一回集まるということが出来るのだろうかという心配がありました。

そこで私は一番最初にロータリークラブの例会を持つ4月3日の前に「奥さんの集い」というのをやったんです。ロータリークラブの奥さんの名簿を作りまして、旧三信本店（現中央支店）にお集まり願ひまして、まず水曜という日をメモしていただいて、家へ帰られたらカレンダーに書き込んで下さい。まず奥様に忘れていただかない。そして水曜日の朝になりましたら、「今日はロータリーですよ」ということをご主人に言って欲しいと申し上げたんです。

ところがいろんな人がおりましたね。「俺は普段女房のところで寝起きしていないんだから女房にいても駄目なんだ」と。「それなら別になんでもいいから、水曜日の朝、自分がいるだとう所の人を呼んで来てくれ」とお願いした。当時はそういうのがあるのが半分はいたような気がしますね。明治生まれの人だから大変な豪傑ぞろいでした。

チャーターナイトの時などは、本人は無論出ていただきますが、奥さんにも出ていただく。その他従業員も一人づつ出ていただく。お医者さんは看護婦というわけで、その時も奥さんでない人も大分来ていたようですが。普段寝起きする所の人という別の人になるかも知れませんが…。その代わり横文字は絶対読まないという、日本の字でもあべこべに読むという、学歴小学二年生という人もおられました。今はまあそういうことは考えられない世の中でございますが。

良い世の中になりました、日本中のロータリーも大変綺麗ごとの多い、「ロータリーの友」なんかを見ましても、大変良いことばかり書いてあります。ロータリーだって大変悲惨なこともあったわけです。日本のロータリー、新潟にだって戦前からロータリーがあったわけですが、戦時中日本のロータリーは軍部につぶされてしまったわけです。アメリカに本部のあるようなものはまかりならぬと。新潟でもそうでした。だからモスクワにロータリーができたという話を聞きましたけれども、それが続いているのかどうか。

あるいは現在バクダットにロータリーがあるかどうか御存知の方がおいででしょうか。イランにもバクダットにもロータリーはあったのです。私が会長になりました時に、ロータリー・ディクショナリーというのがあって、世界中のロータリーの事務所が書いてある本があるんです。今でもあると思いますが、その中にチャント書いてありました。

暇でしたのでアラブなんて面白そうだと、バクダットに英語で、三高の先生に翻訳してもらって手紙を書いた。すると返事が来た。何と書いてあるかという、アラビア語で書かれていて何にも読めなかった。私の出した手紙に返事が来たのだから、着いたことは着

いたんだろうけれども。難儀して翻訳してもらった。

アラブの国の人のいうにはどうもキリスト教の国の習慣はアラブの国の習慣にマッチしてくれない。例会とって食事をする。ところがアラブの国は時々絶食をする。断食をすると例会にならない。

現在バクダットには湾岸戦争を契機にロータリーはないと思います。イランもパーレビ国王を追出してからはないのではないかと思います。ロータリーはそういう世界状況を、「ロータリーの友」をみましても、何処で穴掘をしたとかね…、そんなことばかりで。

ソ連のロータリーはどうなったかとか、バクダットにロータリーはあるのかどうか、イランのロータリーはどうなったかという情報をくだされば、世界の趨勢というものを私も居ながらに知ることができる。そのために世界に網を張ったロータリーなんだから。私はそういう情報を我々に聞かせてくれるのが、国際ロータリーの務めではないかと考えておるのですが、今度ガバナーになられる方は、減多においでにならないと思いますが、アメリカへ行って交渉して来て下さい。

いろいろ申し上げましたが、私もこれからも若い人と共に勉強していきますので宜しくお願いいたします。

4月14日例会 卓話 宮島音楽教室 宮島浩子殿

4月21日例会 卓話 川又嘉瑞範会員

4月28日例会 卓話 県議会議員 滝口恵介殿
